

令和7年度第2回学校運営協議会議事録

1 日 時

令和7年11月18日（火）10:00～11:30

2 場 所

本校会議室

3 参加者

- 【A氏】（行政関係者）
- 【B氏】（地域関係者）
- 【C氏】（福祉関係者）
- 【D氏】（福祉関係者）
- 【E氏】（PTA関係者）

1 開 会

2 校長挨拶

皆さま、おはようございます。本日は、ご多用のところ、お集まりいただき、ありがとうございます。委員の皆さまには、日頃より、本校の教育活動に、多大なるご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本日の第2回学校運営協議会では、第1回で提案し、ご承認をいただきました「今後の気仙光陵を考える」を基に作成した「光陵スタイル」について、前期の学習活動の御報告と、今後に向けて、委員の皆さまにもご意見をいただきながら共に深めてまいりたいと思います。委員の皆さまには、様々なお立場や視点から、忌憚のないご意見や貴重なご提言をいただきたく存じます。

今日の協議が、本校のさらなる教育活動の充実と発展に繋がる実り多いものとなりますよう、皆さまのご協力をお願いいたします。

3 趣旨説明

光陵スタイルは「一体感」「つながり」を意識し、教育活動を進めていくことを校内で確認し、今年度スタートした。校内研究においても、職員間の対話を増やすこと、児童生徒が現在取り組んでいる授業・学習・行事等の取り組みについて「つながり」を意識した取り組みを進めることとしている。

前半の教育活動を振り返り、今後、よりよくしていくためのご助言をいただきたい。

4 「光陵スタイル」に基づいた振返り及び今後の取組について (報告)

【学部や地域とのつながり (表)】について

実施済の活動を黄マーカー、「つながり」を意識し、工夫を加えながら実施した活動をピンクマーカーで記した。主にピンクマーカーが付いたことから多くの活動でつながりを意識し、工夫しながら学習活動を実施してきたことが確認できた。

【小学部前期活動報告】

○じゃがいも、さつまいも交流

- ・高等部農耕環境班と行った。じゃがいも植えと収穫を、さつまいもは収穫を一緒に行った。高等部生徒が小学部児童をサポートしながら収穫作業した。交流実施以降、親近感をもった高等部生徒が、昼休みに教室へ遊びに来てくれる様子からつながりが深まったことを実感した。

○立根小学校交流

- ・交流の仕方は少しずつ変化しているが30年以上継続している。現在は5年生と交流している。お互い一緒に活動し、楽しむ中でお互いの理解が深まり、ごく自然な形で交流することができている。保護者から休日に訪れたスーパーで、立根小学校児童から声を掛けられたという声も聞かれるなど良い交流ができていると感じている。

○今後に向けて

- ・地域での活動としてクリーン作戦（ゴミ拾い清掃）に取り組んできたが、熊出没による制限があり、ゴミ拾い活動を計画しにくくなった。地域の中で取り組める活動を模索中である。昔遊びにも取り組んでいるため、地域の方から教わるのもよいと考えている。

【中学部前期活動報告】

○ピーマン交流

- ・5年前からB委員のピーマン畑で地域交流をさせていただいている。昨年まで収穫時の1回だけの活動であったが、つながりと学習を深めたいと今年度は、草取の機会も設定し、収穫と合わせ2回実施した。回数を増やしたことで、生徒は地域貢献ができているという実感をもつことができ学習が深まったと感じている。

○光陵祭ステージ発表

- ・地域の方々から学ばせていただいていることへの感謝の意を伝えるため、ピーマン交流をステージ発表テーマに取り上げた。地域とかかわりながら学習することの大切さ、ありがたさを実感できる機会とすることができた。製品販売会でも多くの方々に購入いただけた。

○今後に向けて

- ・よりよい地域交流の在り方について意見をいただきたい。ほかの学習活動との兼ね合いもあり、地域活動へじっくり取り組むための時間確保、他学部とのつながりも深めながら活動するといったことについてのご意見をいただきたい。

【高等部前期活動報告】

○盛町市日販売

- ・年4～5回、盛町市日で作業学習製品販売をしている。市日の方々にも取り組みを認められ、準備や片付けなどの手伝いもいただいている。お客様方に高評価をいただき生徒の取組意欲につながっている。

○高等学校総合文化祭

- ・陸前高田市一本松ホールで開催された岩手県高等学校総合文化祭総合開会式オープニングセレモニーで、長年に渡り地域の方々からご指導いただいている「権現舞」を高等部全生徒が参加し、披露することができた。また、同じ高校生の様々な発表も観覧でき、生徒も我々教員もよい学びの場とすることができた。
- ・高等部は郷土芸能部に所属している。この地域には郷土芸能部に所属し、太鼓に取り組んでいる高校もある。今後も何らかの形でかわりをもち続けていきたいと考えている。

○今後に向けて

- ・高等部生徒在籍数が減少傾向にあること、ご指導してくださる地域の方々のご年齢やご都合等がある中、ご指導いただける回数も限りがあるがこれまで実施してきたことを負担なく継続していくことについて考えていきたい。

【寄宿舎前期活動報告】

○さつき会行事

- ・夏冬の年2回の行事を実施している。実行委員の舎生が内容について考え、夏の熱い思い出をつくりたいとの思いから「気仙光陵夏まつり」を実施した。ステージ発表では、自分たちの発表だけでなく、学校の先生にも協力を仰ぎ、多くの先生方が参加した。夕食は希望献立、夜は打上花火鑑賞を企画し、夏の行事を楽しんだ。

○地域貢献活動

- ・学校バス停留場前の落ち葉拾い活動を実施した。通行する地域の方々に感謝の言葉を掛けられながら取り組んだ。清掃後、きれいになった様子をみて達成感を感じることができた。

【分掌業務報告】

○総務部

- ・PTA親子レク10月18日（土）午前実施。希望した親子と教員のつながりの場として実施。校内で実施しているが地域行事との連携も考えられるという意見があった。

○教務部

- ・教員や教育系の進路を目指す大船渡高校3年生8名が7月、本校でインターンシップを行った。昨年は2名の参加だったが今年は参加人数も増え、新聞記事にも取り上げてもらった。8人は小中学部の授業を見学したり、学習や活動に参加したりした。今後も要望があれば受け入れ、地域の学校とつながっていききたい。

○進路指導部

- ・毎年、高等部2・3年生が前期後期2週間、産業現場等で実習をさせていただいている。地域

の理解と受け入れがあつてこそ実施できるものであり、地域の方々に感謝申し上げる。

今年度の新たな取り組みとして、全保護者を対象に進路研修会を開催した。各事業所と対面し、事業内容を聞く機会を設けた。卒業後の就労について、具体的なイメージをもつことになげることができた。

○生活指導部

- ・全校のつながりを意識した取り組みとして全校朝会を月1回実施している。「なかよし広場」という時間を設け、児童生徒を縦割りでグループにわかれてクイズやゲーム等に取り組んでいる。

○研究部

- ・今年度の研究実践では、教員自身が自分の意志で考え、変化を起こすというエージェンシーを掲げ、よりよい授業づくりや職場づくりを目指してチームで研究に取り組んでいる。
- ・体育スポーツチーム
大船渡市体育協会の方を講師に招き、楽しく体を動かす運動について実技を交えた研修を受けた。教わったことは体育や朝の運動に取り入れ児童生徒の授業や活動への還元に努めている。
- ・表現制作チーム
教材研究に取り組む時間確保が難しい現状にあるが、教科専門性を有する教員が教材づくりや活用についての紹介を行うなどして、よりよい授業づくりに生かすことを目指している。
- ・児童会生徒会さつき会チーム
全校朝会の「なかよし広場」の企画では、全校が楽しめる活動を考え実施している。これまでは担当職員のみで活動内容を考えていたが、チームで話し合うことで、各自が受け持つ児童生徒の様子を踏まえ意見交換しながら活動内容を決めることができるようになった。さまざまな視点から、児童生徒が取り組みやすい活動を検討することができたり、担当者の心理的負担も軽減されたりしている。学校の活動だが全校朝会を見に来る寄宿舎の先生方もいる。
- ・余暇チーム
写真は放課後、寄宿舎での余暇時間に生徒とテーブルゲームをしている様子。普段あまり寄宿舎や寄宿舎生とかわることがない教職員も参加し、交流することができている。
- ・ICT・AIチーム
児童生徒の学習や活動に役立ちそうな情報を共有するだけでなく、ICT人工知能を活用した業務の効率化も目指している。チーム内で活用できると話題にあがったことは職員会議等で紹介している。教員のICT活用力も徐々に向上してきている。
- ・働き方改革チーム
働きがいのある職場をつくることを主な目的としている。心身ともに健康で働くことができるように健康管理に関することや先輩教員から働き方について学ぶ機会を設けるなどの取り組みをしている。

変化を起こすことを含めたエージェンシーは、過去・現在・未来といった時間軸、環境への働き掛け、協働性といった横の広がりが必要となる。気仙光陵は今変わろうとしているが、そ

のためには気仙地区の過去や歴史を知っており、なお且つ未来について考えている委員の皆さまや地域の方々との協働がこれまで以上に必要である。引き続きお力添えをいただきたい。

前期活動報告を受け、今後に向けて「地域交流の取組」「外部人材活用」「学部間のつながり」「地域との協働」等の視点を基に、意見、助言、感想、情報提供等をグループの対話の中でいただきたい。

(小グループ対話とまとめ)

○地域交流について

- ・放課後デイサービスとの行事交流はどうか。
- ・老人クラブとの交流はどうか。
- ・中学部6月実施の農場交流活動は良かった。
- ・地域の連携は声を掛けてください。

○外部人材活用について

- ・技能認定会の内容を企業とのつながりに生かす。(管内企業の部品作業・箱折りなど)
- ・地域の方を講師として昔遊びを立根小学校で実施している。

○学部間のつながりについて

- ・現在実施している学部間交流を継続し、さらに増やすことができるとよい。
- ・学校全体で取り組むものがあるとよい。

○前期取組についての意見、感想等

- ・本来の業務(教育)のバランスをしっかりと。
- ・先生方の自主的な活動(特にも校内研究)に感銘。
- ・現在やっていることを継続し、さらなる深化を。
- ・業務の取捨選択を管理職が率先して行い、先生方の多忙減へ。
- ・行事を活用して、支援学校を知ってもらうきっかけに。
- ・生徒減をマイナスではなく、プラスと捉えた活動を。生徒数の変化に応じた取組みを。
(例：全校での権現舞など)
- ・作業製品販路拡大としてネット販売を検討できるか。

5 委員の皆さま方から

【D氏】

- ・先生方のやりたいという思いがたくさん伝わってきた。また、取り組むと決めたことにしっかりと取り組まれている実行力が素敵だと感じた。参加された方々と話をする中で、多くの気づきを得ることができた。

【B氏】

- ・小グループで話題にしたこと、それに対して意見されたこと、どれもそのとおりだと感じた。私が今年になって一番緊張した場面は、様々な場所で挨拶をしてきたが、先日、開催された光陵祭でセリフを話す場面が一番緊張した。とてもよい経験となり感謝する。

謝辞

本日はたくさんの貴重なご意見を頂戴しました。心より感謝申し上げます。

本日の第2回学校運営協議会では、委員の皆さまと教職員が、距離感を縮めながら意見交換やご助言をいただくことができ、大変有意義な時間となりました。

まだまだ話は尽きないと思いますが、委員の皆さまには、これからも応援団として気仙光陵支援学校を支えていただければ幸いです。

本日は、誠にありがとうございました。

6 諸連絡

- (1) 第2回学校運営協議会運営に関するアンケート用紙記入依頼について
- (2) 第3回学校運営協議会開催について 令和8年2月16日（月）